

地域協働学校だより No.2

令和元年 7 月 2 日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

「地域協働学校運営協議会」からのご報告です

6 月は地域協働学校としてセーフティ教室と地域安全マップ作りに参加させていただきましたのでご紹介いたします。梅雨で不安定な天候の中でも市谷児童たちは元気いっぱいでした。

牛込警察署生活安全課によるセーフティ教室

6 月 22 日、学校公開中の土曜日に警視庁牛込警察署生活安全課の方々にお越しいただき、1～3 年生向けには「万引き」について、4～6 年生向けには「情報モラル」についての授業をしていただきました。高学年向けの授業を見学させていただきました。



スマホの落とし穴

まず初めにちょっと怖い DVD を見ました。登場人物の高校生たちがスマホの使い方を誤り、不正アプリの使用から多額の架空請求をされたり、不用意にブログに写真や情報をアップロードしたことで個人情報が流出、知らない人からメッセージが送られてきたりするのです。

こういったトラブルを防ぐには、正しい知識と対策（フィルタリングの正しい設定、不正アプリについての正確な知識、必要に応じて GPS 機能を切るなど）が必要なのですが、児童も保護者もインターネットやスマホの落とし穴を理解しているでしょうか？

「スマホを使ったことがある人？」という質問には、ほぼ全員が手を上げていました。

「それではインターネットって何かな？」これにはなかなか答えられませんでした。

スマホは携帯電話（いわゆるガラケー）とは違い、むしろパソコンです。そしてインターネットは、世界中のパソコンやネットにつながるものすべてとつながります。いろいろな人とつながれるのは良い点でもあるし、相手がどんな人なのか、ひょっとしたら悪い人なのか、わからないですから怖い点でもあります。

インターネットで気を付けるところ

- ・あなたの情報は世界中の知らない人に見られてしまう。
- ・発信した情報は世界中に広がって簡単には消せない。
- ・インターネットで知った情報が本当だとは限らない。

また、一度ネット上で広がった情報は消すことができません。ブログなどに旅行の予定やいつものスケジュールを載せれば泥棒に入られたり待ち伏せされたりするかもしれません。



メッセージアプリからトラブル・いじめ

便利なメッセージ交換アプリでは、返信の遅れや誤解からトラブル・けんか・いじめにつながることもあります。例えば、「これ、かわいくない」かわいくない？と同意を求めているのか、かわいくないと否定しているのか…。「なんで来るの？」という交通手段で来るかを尋ねているのか、どうして来るんだと嫌がっているのか…。

トラブルを防ぐためのルール ～自分の身は自分で守るために～

- ・知らない人から来たメールに返信しない。 ・ネット上の相手に住所や名前を教えない。
- ・写真を載せたりしない。 ・会おうと言われても絶対に会わない。

困ったら大人に何でも相談！ スマホやインターネットの使用ルール（時間など）を決めよう！

意見交換会

3校時の意見交換会には保護者、先生、警察の方が参加し、グループに分かれて家庭でのルールや、困っていることなどについて以下のような活発な意見が交わされました。

- ・親の見ているところでだけ使わせている ・時間や回数を決めてある
- ・パスワードは親が管理 ・子供はルールをかいぐろうとする。
- ・どんなリスクがあるのか保護者もよくわかっていない。
- ・時間のルールなどはどう決めたらいいのか。いつ頃から持たせるか。
- ・親以外の人から危険性を指導してもらおうと効果的だと思う。
- ・機種変更の際のセット割や古くなったものをお下がりとして、小さいうちから与えてしまいがち。



警察の方からは、「始めに設定するルールは厳しめに」「ゲーム機もネットにつながれるものがあるので注意」などとアドバイスをいただきました。家庭のコミュニケーションが大切だと話し合いました。

市谷小学校3年生安全マップづくり 地域への調査活動

6月25日、三年生児童82人が12班に分かれて大人が付き添い、地域の安全についての調査とマップ作りを行いました。保護者の方15名ほどと地域協働学校から5名、地域から1名の大人が参加しました。

実際に地域を歩いていくと色々発見がありました：両側を高い塀に挟まれた細道やひび割れたブロック塀、傾いている電柱、住宅地の細道が車の抜け道になっていること、きれいな公園でも茂みがあると見通しが悪い、など。

また、ピーポ110ばんの登録個人宅でステッカーを貼っていないお宅へ取材予定でしたが、近所の方から日中はご不在と聞き、実際ご無理なお宅もあるのだという事もわかりました。各班とも、リーダーやカメラ担当などそれぞれの役割を担いながら有意義に調査を終えられました。



写真撮ったところに印を…



畳屋さんのピーポくん
間口が広くて入りやすい



曲がった棒とヒビ割れた塀



細い道に高い塀が…

児童たちは以下のことを調べて写真を撮り、地図に書き込んでいきました。

1. 「ピーポ110ばんのいえ」の場所を確認し、シールを貼っていない場合には、その理由を尋ねる。
2. 大きな通り、お店、施設など、いざというときに逃げられる場所を調べる。
3. 危険な場所(入りやすく、見えにくい場所など)を調べる。

安全マップの完成が楽しみです！